

議会報告会（意見交換会）質問に対する回答

山ノ内町議会

1. 議事録作成人、署名人は指名しますか。

議会報告会は、4地域の様々な分野の町民と一堂に会して、直接意見交換する議会の重要な活動と位置づけております。報告会のあと記録した町民の皆さんからの意見を、すぐ行政に伝えなくてはならないこと、今後の課題とすべきこと、問いかけに対して正確に答えられなかったことなどを整理して、報告書にまとめております。報告書は共催の団体等にお渡ししています。また、議会ホームページにおいて全文、議会だよりにおいては要旨を報告しています。議会報告会は単なる意見交換の場でないことをご理解いただければと思っています。

2. 議員報酬一人当たりの日額について

議員の報酬は議員活動に対する対価として議員に支払われるものとして考えています。質問に述べられている年4回の定例議会への出席は議員としての最も重要な活動の一部ではありますが全てではありません。そのほか臨時議会（昨年の場合2回）議会活性化研究会の参加、町主催の会議・大会への出席・協力、北信広域議会・岳南消防組合への出席、各常任委員会における各種団体との意見交換、また、それぞれ出身の地域の区行政への参加協力、そして各議員における調査・学習など多岐に渡っています。本会議の日数のみで報酬を検討することは本来の議員活動を検討することに当たらないと考えています。

3. 議員定数は適正だと思いますか。

適正なる議員定数は何名かは継続的な事項であり、議論検討することは大変難しいテーマであると考えています。町内4地区の住環境が違えば抱える課題も様々です。今回は、過去2期にわたって2名づつ定数を削減した経過があり、これ以上定数を削減する事は町民の意見意向を行政に反映しづらくなるという意見が、削減するよりも多数を占め、定数については現状のままとなっております。しかし、定数については時代・住環境の変化に伴い変化するものと考えております。今後も検討されなければならない重要課題であります。しかし、単なる他市町村との比較だけではなく、行政の情報公開・行政評価制度の進捗・選挙区等について併せて考えていかなければならないと考えています。

4. 議員提出事案（件）は足りないと思いますか。

平成19年議員提出事案は7件、平成20年は12件、平成21年は13件ありますが、社会状況が変化の中で町民の行政に対する要望も多く多様化する傾向にあります。それに答えるべく議員提出事案の内容については更に検討されなければならないと考えています。

5 . 一般会計議会費予算は適正だと思いますか。

議会費の人件費は94%を占めておりますが、現時点では適正な数字であると認識しています。しかし、より一層の議会活動を充実させるためには、議会広報活動費などの増額も検討されなければならないと考えています。

6 . “ 天下り ” “ 渡り ” はあると思いますか。

天下りの定義が良く分かりませんが、町の一部行政部門において行政経験の必要性が求められ退職職員が嘱託職員として2名・ポストについています。また、ご指摘の社会福祉協議会理事長については、委託事業をお願いする行政側の理事者が兼務する事に議会において反対意見がありましたが、社会福祉協議会から町長への要望があり、また、無報酬ということで現在就任していますが、いずれ適任者が居れば民間からの起用が一番と考えています。

7 . 当町の「事業仕分け」を実施するとしたら、一番はどこをどう行いますか。

事業仕分けについては、議員それぞれ意見があると思っています。それを検討するには現在庁舎内で事業を中心として行われている行政評価制度を公開し、町民との意見交換をすることがまず第一歩と考えています。